

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	仕事に加えて、スポーツクラブや美術クラブで楽しみながら力を発揮し、強味を活かし自信をもって充実した生活を築いている
	内容	毎週金曜日の14時～16時30分にスポーツクラブや美術クラブに参加し、皆で楽しみながら力を発揮し、充実した豊かな生活を築いている。スポーツクラブでは講師の指導のもとに、集団で思い切り身体を動かし健康維持・増進を図り、都のスポーツ大会に参加することで自信を付けている。美術クラブでは油絵画家の指導により作品を作り、ホームページやPICA展(都内のCafe)で作品を展示している。才能を認めた方が作品を購入して頂くなど、利用者の「自己実現」と「幸福」に繋がっている。
2	タイトル	地域活動に参加する機会が沢山あり、障害者が活動しやすく住みやすい、豊かな温かい地域社会の醸成に役立っている
	内容	利用者の絵をデザインを専攻する学生が才能発見し、Sフォントデザインとして商品化することで、一般企業が購入するなど「産学官福」が連携して利用者が社会参加する機会がある。また、自主作品をPICA展(独自の展覧会)や区の展示場等に展示し多くの人が見て障害者の才能を知る機会がある。日常的に商店街の掃除、公園の清掃・除草作業、花壇の植栽等に出かけ地域の方と挨拶など交流する機会がある。このような活動を広報誌クロッカスで案内し、障害者が活動し易く住みやすい豊かな温かい地域社会文化の醸成に役立っている。
3	タイトル	「利用者の権利と自己決定を尊重する」方針の下で職員は話し合っ、協力し合っ、何でも話しやすい、働きやすい職場を構築している
	内容	職場の運営は「利用者本位で権利と自己決定を尊重する」方針のもとに、職員は働きやすい職場づくりに努めている。職員間のコミュニケーションが良く、風通しの良い職場で何でも相談でき、グチも言え苦勞があっても頑張れる職場である。有給も取り易く働きやすい職場で、各職員の得意分野を活かして協力し合っチーム力でサービスの向上を図っている。職員会議では常勤も非常勤も出席し利用者一人ひとりの支援について話し合い、全員が発言し、困難な事は全員で助け合っ解決し働きやすい職場である。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	利用者・家族、職員の3者が共に「幸福」といえる事業所に発展し続ける様に期待したい
	内容	利用者が「生き生きと暮らす」方針のもとに、強味や才能を伸ばし、スポーツクラブや美術クラブで自己表現を楽しみ幸福に暮らせる様に支援している。職員は話しやすい職場で協力し合っ困難な場合はチームで解決する働きやすい職場づくりに努めている。利用者・家族の幸福と同時に、職員も働きやすい職場から幸福な職場にさらに発展するように期待したい。そのため、職員自身の長所と成長など自己肯定感の充実、相互に感謝し合う信頼関係の充実、自分らしく生きる等々の個人の内面の充実を図り、利用者・家族・職員が共に幸福な事業所を期待したい。
2	タイトル	長い経験の積み重ねで支援力は高く、穏やかで落ち着いた運営が出来ている。さらに専門研修を受け高い支援力の裏付けを望みたい
	内容	職員の勤続年数の平均は12年であり、毎日の支援経験の積み重ねや困難事例の経験等の積み重ねにより実践能力は大変高い。事業所内穏やかで落ち着いた雰囲気利用者はそれぞれ好きな得意な仕事をしおり、職員の支援力の高さが理解できる。今年度は各事業所が連携して研修を実施し、事例に基づく虐待の研修、発達障害の研修等をWebで実施している。今後さらにWebの専門研修に参加する機会を増やし、経験に基づく支援力の裏付けの確認を期待したい。また、理念・方針を実践する支援の在り方を話し合う機会を多く期待したい。
3	タイトル	日々のケース記録の視点として、「パワーアップリスト」が活かされることを期待したい
	内容	個別支援計画は、半年ごとにニーズや課題のモニタリングを行い、利用者と家族との個別面談で希望や意見を確認して、計画を見直している。支援計画の実施にあたって、職員間で支援方針として申し合わせていることは、利用者の良さや強みを発見し、力を引き出すことである。そのために個々の利用者の良いところを「パワーアップリスト」として作成している。さらなる支援の専門性の向上に繋げるために、日々のケース記録の視点として、「パワーアップリスト」が活かされることを期待したい。